

パブリック・アジェンダ、高等教育機関における CBE プログラムに関する
調査報告書を発表（1月6日）

非営利団体のパブリック・アジェンダ（Public Agenda）は、高等教育機関における単位時間によらない能力ベースの教育（competency-based education : CBE）プログラムに関する調査報告書「能力ベースの教育プログラムにおいて共有される計画要素と新たな実践の調査に関する研究報告書（A Research Brief on the Survey of the Shared Design Elements & Emerging Practices of Competency-Based Education Programs）」を発表した。本調査は、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団（Bill & Melinda Gates Foundation）による支援を受けて行われたもので、高等教育機関における CBE プログラムに関する調査では過去最大規模である。これによると、回答者の大半が、①プログラムの明確な適格性、②有意義な評価、③卒業生が労働市場における戦力となるような学生を第一に考えたプログラム、の3つが、強力な CBE プログラムに不可欠な要素であるという点で合意していることが明らかにされた。また、CBE プログラム実施において障壁となるのは、④自動的且つ適合性のあるデータシステムの整備と、⑤学資援助へのアクセスや非伝統的な価格設定を含む財政モデルへの対応であることが明らかになった。

なお、本報告書は、

<http://www.publicagenda.org/files/SurveyOfSharedDesignElementsAndEmergingPracticesOfCBEPograms_PublicAgenda_2015.pdf>からダウンロード可能。

Public Agenda, Colleges Leading Competency-Based Revolution Agree on Essential Elements for a Successful Program

<http://www.publicagenda.org/press-releases/colleges-leading-competencybased-revolution-agree-on-essential-elements-for-a-successful-program>